



山田光教寺



光闡坊入口に蓮如上人像が建つ

所在地：石川県加賀市山田町西山田

立地：丘陵先端、標高35m

城主：蓮誓、顕誓

時期：室町、戦国

見学時間（参考）：20分～40分



境内入口に残る大土壘



お米屋敷（米蔵）跡
蓮如上人腰掛石と枕石

長享2年（1488）の長享一揆後、河北郡の若松本泉寺、能美郡の波佐谷松岡寺とともに本願寺一家衆として加賀の門徒を統制した。

大永元年（1521）に蓮誓が没すると、蓮誓の三男顕誓が光教寺を嗣いだ。享禄4年（1531）の錯乱により寺院は焼失し、顕誓は越前に逃れたが、のち捕らえられ播州赤穂の本徳寺に蟄居させられ、光教寺は廃絶した。

現在の光闡坊の入口西側に大土壘があり、その東端に蓮如上人像が建っている。大土壘の北に最も広い曲輪（主郭）があり、蓮如上人御旧跡碑の辺りが光教寺本堂と伝えられる。また光闡坊本堂の北西に、光教寺の米蔵があったといわれ、現在でも雨上がりの後などに焼米が採集される。かつて真宗門徒がこれを蓮如上人を偲ぶお守り代わりにしていたといわれる。各曲輪の北辺は急な崖状となり、その北西から入り込んだ谷は、かつては湿地で容易に敵を寄せ付けない天然の要害であった。



伝本堂跡に建つ蓮如上人御旧跡碑



山田光教寺跡（左）の北に広がる元湿地は畠地となり細い川が流れる



いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>